

日本を代表するスペイン舞踊団、圧巻の群舞、神秘と情熱のフラメンコの世界!

Ballet de Yoko Komatsubara

小松原庸子スペイン舞踊団

フラメンコ その神秘と情熱

Flamenco Misterio y Pasión



9/4(月) 開演 18:30 紀南文化会館大ホール

入場料 (自由席): 2500円(当日3000円)

託児所開設 (1000円) 8/22 締切 (要予約)
申込み、お問い合わせは田辺市教育委員会文化振興課まで

未就学児の入場はご遠慮願います。

チケット発売所 (6月29日発売)

紀南文化会館、田辺市教育委員会 文化振興課(市民総合センター3F)、プレジール、上富田文化会館、龍神市民センター、本宮教育事務所
みなべ町中央公民館、中辺路コミュニティセンター、大塔総合文化会館、白浜町教育委員会、日置川拠点公民館、周参見公民館

遠方の方はチケットの予約・郵送も行っておりますので田辺市教育委員会、文化振興課(0739-26-9943)までお問い合わせ下さい。

主催 / 田辺市教育委員会

お問合せ / 田辺市教育委員会 文化振興課 TEL0739-26-9943 和歌山県田辺市高雄1-23-1
紀南文化会館 TEL0739-25-3033

Ballet de Yoko Komatsubara

小松原庸子スペイン舞踊団

フラメンコ その神秘と情熱

Flamenco Misterio y Pasión



プログラム

ファンダンゴス・デ・ウエルバ / マラゲーニャ / アラゴネサ / 闘牛士の歌 / アランフェス / タンゴ・ティエント
ラ・カーニャ / グアヒーラ / エル・リトウモ・イ・コンパス / ソレア・ポル・ブレリア / アレグリアス

*プログラムは変更になる場合がございます。

小松原庸子スペイン舞踊団 主宰:スペイン舞踊家 小松原庸子



邦楽一家常磐津勝蔵の長女として生まれ三味線、日舞、クラシックバレエを習得。16歳より小牧バレエ団公演に出演。同時に俳優座養成所入所。演劇活動も始める。

1959年ビラール・ロベス・スペイン舞踊団の日本公演に感動。単身スペインに渡る。数年に亘る修行の後、ラファエル・デ・コルドバ舞踊団に入団。1969年、小松原庸子スペイン舞踊団結成。数々の創作作品を発表。1983年、堀田善衛作「ゴヤー光と影」を創作。文化庁芸術大賞。外国人舞踊団としてスペイン各市に招かれ、スペインにおける位置を確立する。以来、スペインを始めイスラエル、中国、南米等、世界各国を公演。2015年、舞踊団創立45周年記念周年事業として国内各地での公演、その掉尾を飾る公演として、精魂込めて生み出した作品「天目山 曜変の舞い」は、日・西・中3国の音楽融合による美と幽玄の世界を表現。今までに見た事の無い、神秘的で、美しい作品、と好評を得た。又、この春には、インド、アラブそしてスペインのアーティスト達を招聘してのフラメンコのルーツを辿る公演では、観客に改めてフラメンコの認識と感動を与えた公演となった。

受賞歴:スペイン国王よりイサベル・ラ・カトリカ勲章、文化芸術の功勞により、紫綬褒章、旭日小綬章等々の受章に輝き、枚挙に暇がない。

入交 恒子

幼少の頃よりモダンバレエを学び、1980年よりフラメンコを小島章司氏に師事。代教を行いながら、舞台活動に参加。1986年スペイン政府による奨学生として渡西。カルメン・コルテス等に師事。1987年コンクルソ・デ・アルテ・フラメンコ・東京で入賞。小松原庸子スペイン舞踊団入団後ビエナル等に出演。独立後、日本各地で公演を行う。2006年、「MI SOLEA」で文化庁「優秀賞」、2007年、再び文化庁「優秀賞」受賞。

後進の育成に力を注ぎ、小松原庸子スペイン舞踊団の多くの公演にも参加、又、自身の舞台活動も行い、elegantな中に秘めたフラメンコへの情感が観客を魅了している。

奥濱春彦

'93 東京藝術大学在学中サークルを通じてフラメンコに出会う。'98 フラメンコ協会主催新人公演にて奨励賞受賞。'99 平成11年度文化庁芸術家在外派研修員としてマドリッドへ留学。その後、スペインなどで数々の舞台を踏み、帰国後、有限会社ジャ・スペインを設立。HARU Studio開講。バレエ、フラメンコのカンパニーからの出演依頼も多い。

多芸振りを見せ、当舞踊団への貢献度高く、その実力を大いに発揮している。同時にフラメンコを広げるための指導に力を入れる。